



松江の東の玄関口

竹矢地域の

日本共産党

環境と健康、安全を守ります 尾村としなり

《護岸改修工事の概要》

- 土手の道幅3mを確保するため、護岸の侵食箇所への土のうの設置。
- 雑草が生い茂っている箇所の除草。
- 土手に植栽されている桜の木の伐採。
- 工事期間は、来年1月～3月末まで。

住民のみなさんの早期改修の要望が実り、県担当者は10月25日、工事方法等について、地元住民の現地説明会を開催しました。

今後、工事施行業者を12月中旬頃に決定し、来年1月に県と工事施行業者合同の住民説明会を開催した後、工事を着工する予定となっています。工事終了時期は、来年3月末となる見込みです。

尾村県議は、本年4月9日、地元住民から改修要望が出されていた県管理の意宇川の河川調査を実施しました。

意宇川は、川口から約1キロメートルが緩くカーブしています。水流の当たる西側の土手が侵食され、地元自治会の方からは、「1972年の水害では、上流の堤防が切れ、田畑が冠水したこともある。早く護岸を改修してほしい」との声が出されていました。

住民と意宇川の河川調査を実施 今年度から河川の改修がはじまります

また、樋ノ口川の環境・漁業修復対策では、「水路の側壁に植物(カキツバタ)を植栽し、水路の底に土砂が堆積するようにし、魚が生息しやすい環境対策を実施したものの、植物が生育していない」と答弁。今後、植物については、「専門家の指導を求め、再度植栽する」と答弁しました。

馬潟ダイオキシン対策に万全を

環境保全と住民の健康・安全を保持せよ

全国一のダイオキシンが検出された馬潟工業団地。周辺住民のみなさんからは、今も健康不安や環境悪化を心配する声が出されています。

尾村県議は11月4日、決算特別委員会で『馬潟ダイオキシン問題』について質問しました。

産廃業者に対する指導・立入調査の状況について、県は、産廃業者(二十一社)に対し、延べ二十九件に立入検査や指導を実施したと答弁。ダイオキシン類の発生原因事業者と推定された七社に対しては「敷地内の土壌からダイオキシン類を含む土壌が流出しないよう舗装の整備や廃棄物の飛散や流出の防止策などを引き起こさないための指導を行った」と答えました。



現地調査する尾村県議(写真右)

4月に調査し、今年度からの改修が実現!



馬潟工業団地で住民から要望を聞く尾村県議(写真右から2人目)

11月4日の決算委員会で厳しく追及!